

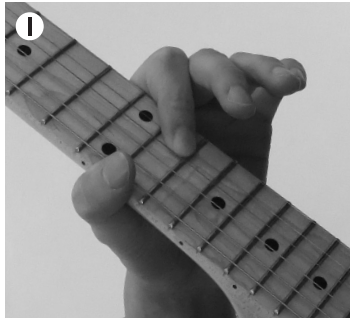
注意点1



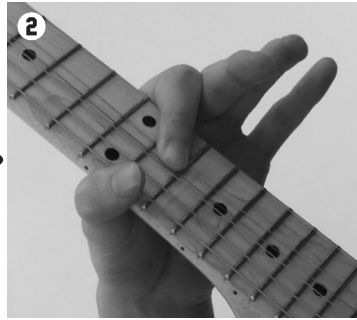
左手

微妙な音程を使って
細かいニュアンスを付けよう

このメイン・フレーズでは“1音”“クォーター”“1音半”という3種類のチョーキングが登場する。音程の違いは名前のとおりになるが、特にクォーター・チョーキングには注意が必要だ。“クォーター”とは1/4音という半音のさらに半分という音程になるが、実際の演奏では必ずしも1/4音分上げる必要はなく、**微妙なニュアンスを付ける【註】**ような感じで弦を少し持ち上げると良い(写真①&②)。クォーター・チョーキングは、ブルース・ギターの常套句になるが、ロックでもよく使われるので必ず覚えよう!



クォーター・チョーキング前の2弦13fの押弦。人差指でチョーキングの準備をして……



弦を少しだけ持ち上げよう。非常に微妙な音程になるので、ニュアンスを付けるような感じで弾くと良い。

注意点2



左手

チョーキング&プリングの
王道フレージングを修得!

メイン・フレーズ3小節目2〜4拍目には、ロック・ソロの王道フレージングである“チョーキング&ダウン+プリング”の連続技が登場する(写真③〜⑥)。ここでは、チョーキングとプリングをスムーズに繋げることがポイントで、人差指の使い方に注意しなくてはならない。3拍目では人差指を常に17フレット上に置くと、フィンガリングの流れが滑らかになるだろう。チョーキングは複数の指を使って弾くことが多いが、ここで人差指を薬指&中指に近づけてしまうと、フレーズのスピードに追いつかず、フィンガリングが乱れる原因になる。まずは、“チョーキング&ダウン+プリング”をくり返し練習すると良いだろう。



3拍目の2弦20f押弦時。チョーキングの準備をする。



薬指で20fをチョーキング。人差指は17fを押弦し続ける。



チョーキング・ダウン。続くプリングを意識することで……



プリングをスムーズに弾くことができる。

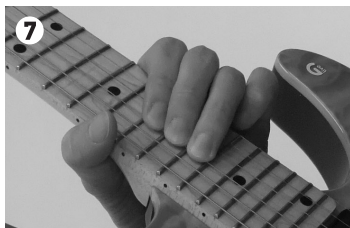
注意点3



左手

弦を下方方向に引っ張って
音程を1音半分上げるべし

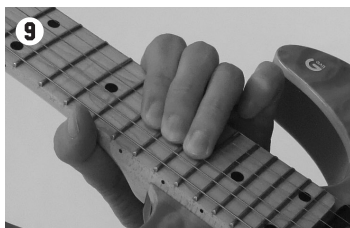
メイン・フレーズ4小節目2&3拍目に登場する1音半チョーキングは、低音弦でのプレイになるのでフィンガリング力がかなり必要になる。しかし、ただ闇雲に力づくで弦を持ち上げようとしても、1音半の音程が正確に取れないので気をつけよう。通常チョーキングはネックの上方方向に弦を持ち上げるが、このような低音弦でのチョーキングでは弦を下方方向に引っ張ると良い(写真⑦〜⑨)。ちなみに、12フレット以降での1音半チョーキングは、チョーキングする弦の2本隣の弦あたりの位置に弦を持ち上げると音程が合う。4小節目2拍目は4弦でのチョーキングになるので、2弦の位置を目指して弦を引っ張ろう。



人差指の付け根をネックにしっかり固定して……



指が弦にぶら下がるイメージで、音程を1音半分上げる。



チョーク・ダウンも的確に。常に3本指をセットで使おう。

【微妙なニュアンスを付ける】クォーター・チョーキングは、弦を持ち上げるスピードにも注意が必要だ。ゆっくり上げるようにして、演歌のコブシのようなタメを生み出すと、クォーター・チョーキング特有のニュアンスを付けられる。